

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002718	クラス名	衛藤ゼミ
担当教員名	衛藤 俊寿		
履修上の注意、履修条件	教わるだけでなく、自ら調査し問題を発見、解決案を提案できること。 活発に討議や発表に参加すること		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	「学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー」(FOM出版) 「学生のためのデータリテラシー」(FOM出版)		
関連科目	経営学入門, プロジェクトマネジメント論, 情報リテラシー1・2		

○基本情報	
授業の目的	本ゼミでは、社会に存在する様々な問題・課題を解決する方法を自ら考え・深掘りする「探求力」を身に付けることを目的とする。特に、卒業論文作成にむけた課題の発見、解決案の提案と検証に取り組む。研究の成果を整理し、卒業論文としてまとめる。ゼミⅣでは、今までの研究の成果を卒業論文にまとめるにあたり、論文のまとめ方についてのスキルも身に付ける。
授業の概要	論文のまとめ方について、レポート作成とプレゼンテーションのノウハウを参考資料に沿って学修する。また、探求力の基本を身に付けるため、参考資料を参照しながらパソコンとデータを用いて、問題・課題の抽出、解決のための目標設定、データ収集、データ解析、解析結果の解釈・評価の方法を学修する。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目
実務経験のある教員による授業科目	衛藤俊寿 本授業のITビジネスに関連し、コンピュータ企業にてIT関連の技術開発に従事する。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	問題探究や課題解決に興味を持っていること		10点	10点
【知識・理解】	論文作成やプレゼンにおける基礎的知識を理解していること		15点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	将来の社会人として基本的なコミュニケーション能力を有すること			30点
【思考・判断・創造】	問題探究や課題解決の結果から正しい判断・評価を下し、現状の課題や将来の提案に応用できること		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
ゼミにおける研究成果として卒業論文を完成させ、発表を行うこと。また、出席状況・受講態度も考慮する。卒業研究については、授業中において評価・講評等を行う。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 衛藤 俊寿	授業コード	E002718
<b>学修内容</b>				
<b>1. ゼミナール(第1回目)</b> ゼミナールⅢで調査発表した内容を踏まえ、本ゼミでの各自の研究目標を議論する。また、卒論に向けた活動の行動計画を策定する。				
予習	-			約2時間
復習	-			約2時間
<b>2. ゼミナール(第2回目)</b> レポート作成について下記の内容を学修する ・レポート(論文)の概要を理解する ・情報を収集する方法を学ぶ ・レポートの構成を理解する ・執筆力を高める				
予習	テキストp1-31を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>3. ゼミナール(第3回目)</b> 執筆ツールについて下記の内容を学修する ・Wordの機能を理解する				
予習	テキストp32-43を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>4. ゼミナール(第4回目)</b> レポート執筆の実践として下記の内容を学修する ・レポートの問題点と改善案を考える				
予習	テキストp44-48を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>5. ゼミナール(第5回目)</b> レポート執筆の実践として下記の内容を学修する ・テーマに基づいてレポートを作成する ・全員で討論・評価する				
予習	テキストp44-48を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>6. ゼミナール(第6回目)</b> プレゼンテーションのための資料作成について下記の内容を学修する ・プレゼンテーションとは何かを理解する ・プレゼンテーションを構成する ・訴求力の高い発表資料を作成する				
予習	テキストp83-104を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>7. ゼミナール(第7回目)</b> プレゼンテーション(発表)について下記の内容を学修する ・課題についてプレゼンテーションする ・プレゼンテーションを評価する				
予習	テキストp105-120を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>8. ゼミナール(第8回目)</b> プレゼンテーションの実践として下記の内容を学修する ・プレゼンテーション資料の問題点と改善案を考える ・課題についてプレゼンテーション資料を作成する				
予習	テキストp121-126を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 衛藤 俊寿	授業コード	E002718
<b>学修内容</b>				
<b>9. ゼミナール(第9回目)</b> プレゼンテーションの実践として下記の内容を学修する ・課題についてプレゼンテーションする ・プレゼンテーションを評価する				
予習	テキストp121-126を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>10. ゼミナール(第10回目)</b> データ解析について下記の内容を学修する ・データを理解する ・データから傾向を読み取る				
予習	テキストp49-59を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>11. ゼミナール(第11回目)</b> データ解析について下記の内容を学修する ・グラフを利用してデータを視覚化する				
予習	テキストp60-65を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>12. ゼミナール(第12回目)</b> データ解析について下記の内容を学修する ・Excelを使ってデータ解析する				
予習	テキストp66-77を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>13. ゼミナール(第13回目)</b> データ解析の実践として下記の内容を学修する ・解析結果をプレゼンする(Powerpoint・Excel) ・解析結果を評価する ・解析結果の問題点と改善案を議論する				
予習	テキストp78-82を理解する			約2時間
復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り			約2時間
<b>14. ゼミナール(第14回目)</b> ゼミナールⅣの中間のまとめとして、ゼミ内でのミニ発表会を行い研究成果の中間発表を行う。また、今後のゼミナールにおいて研究を続けるための課題を確認する。				
予習	研究成果の中間発表の資料準備			約2時間
復習	研究中間発表資料のレビューと訂正			約2時間
<b>15. ゼミナール(第15回目)</b> ゼミナールⅣの中間のまとめとして、ゼミ内でのミニ発表会を行い研究成果の中間発表を行う。また、今後のゼミナールにおいて研究を続けるための課題を確認する。				
予習	研究成果の中間発表の資料準備			約2時間
復習	研究中間発表資料のレビューと訂正			約2時間
<b>16. 予備</b>				
予習				
復習				

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 衛藤 俊寿	授業コード	E002718
<b>学修内容</b>				
<b>17. ゼミナール(第17回目)</b> データ活用と必要なスキルについて下記の内容を学修する ・どうして「データ活用力」が期待されるのか考える ・データと分析結果を対応付けて考える ・分析結果を利用する人になりきって考える ・データ分析のための武器を身に付けよう: Excelのススメ				
	予習	テキストp1-15を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>18. ゼミナール(第18回目)</b> データ準備とデータタイプについて下記の内容を学修する ・ネットでデータを探す ・アンケートデータを使う ・データの対象をしっかり理解し、説明する ・3つのデータの形				
	予習	テキストp16-29を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>19. ゼミナール(第19回目)</b> アンケートデータの要約について下記の内容を学修する ・データの要約とは何かを考える ・Excelで要約する ・グラフでデータを視覚化する ・ストーリーを考えてデータを分析する				
	予習	テキストp29-43を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>20. ゼミナール(第20回目)</b> 質的変数の分析について下記の内容を学修する ・質的データを比較する ・プレゼンするために「仮説」を持つ ・分析結果を解釈して「ファインディング」を伝える ・データによる仮説の検証に突っ込みを入れてみる				
	予習	テキストp44-55を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>21. ゼミナール(第21回目)</b> 量的変数の要約について下記の内容を学修する ・平均値を活用する ・平均値を計算する際は分布も確認する ・度数分布とヒストグラムを活用する				
	予習	テキストp55-69を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>22. ゼミナール(第22回目)</b> 量的変数のばらつきについて下記の内容を学修する ・ばらつきを数値化する ・売上データを分析する ・一部のデータでは誤差を加味する				
	予習	テキストp70-83を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>23. ゼミナール(第23回目)</b> 平均と標準偏差の活用について下記の内容を学修する ・新しい変数を作って差別化する ・異なる単位の変数を比較する ・ずれの大きな値にチャンスを見つける ・外れ値をもっと活用する				
	予習	テキストp84-95を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>24. ゼミナール(第24回目)</b> 量的データの比較について下記の内容を学修する ・2つの平均値を比較する ・「たまたま」を加味して比較する ・「たまたま」を客観的に評価する(仮説検定の利用) ・ばらつきも比較してみる				
	予習	テキストp96-109を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 衛藤 俊寿	授業コード	E002718
<b>学修内容</b>				
<b>25. ゼミナール(第25回目)</b> 平均値比較のアイデア比較への応用について下記の内容を学修する ・アイデア評価のためにデータを集めよう ・集めたデータでアイデア評価する ・対応ありのデータでアイデア評価する				
	予習	テキストp110-121を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>26. ゼミナール(第26回目)</b> 散布図の活用による関連性分析について下記の内容を学修する ・人事評価データを分析する ・散布図から似ている評価を特定する ・相関分析を応用する				
	予習	テキストp122-135を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>27. ゼミナール(第27回目)</b> 回帰分析による関係性分析について下記の内容を学修する ・価格と売上個数の関係を分析する ・散布図に直線を当てはめてみる ・予測では説明できない部分に注目する ・分析ツールを使って回帰分析				
	予習	テキストp136-149を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>28. ゼミナール(第28回目)</b> 関係性の分析について下記の内容を学修する ・満足度調査データを集める ・満足度と重要度をペアにした散布図を描く ・相関と回帰分析を活用して分析する ・原因変数を複数同時に検討する				
	予習	テキストp150-165を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>29. ゼミナール(第29回目)</b> 時系列データ分析について下記の内容を学修する ・経済データを分析してみる ・トレンドがあるデータでの「いつも」とは ・繰り返しパターンがある時系列データには注意する				
	予習	テキストp166-179を理解する		約2時間
	復習	ゼミでの実践内容の完成・振り返り		約2時間
<b>30. ゼミナール(第30回目)</b> ゼミナールⅣの最終のまとめとして、ゼミ内での卒論発表会を行う。				
	予習	研究成果の発表の資料準備		約2時間
	復習	研究発表資料のレビューと訂正		約2時間
<b>31. ゼミナール(第31回目)</b> ゼミナールⅣの最終のまとめとして、ゼミ内での卒論発表会を行う。				
	予習	研究成果の発表の資料準備		約2時間
	復習	研究発表資料のレビューと訂正		約2時間
<b>32. ゼミナール(第32回目)</b> 予備				
	予習			
	復習			